

(計画名)	播磨区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	兵庫県
<p>(地域の課題)</p> <p>(1) <u>美しい地域づくり</u> 景観条例の積極的な運用や無電柱化の推進により、調和のとれた美しいまちなみ景観を創出。また、都市と農山村の交流を促す様々な取り組みが展開。</p> <p>(2) <u>人間サイズのまちづくりの進展</u> 鉄道駅のバリアフリー化やノンステップバスの導入が進展。今後は、<u>ソフト面</u>を含め総合的にユニバーサルデザインのまちづくりを進めることが必要。</p> <p>(3) <u>人口減少社会の到来</u> <u>右肩上がりの発想に立つ地域計画を見直し</u>、人口減少に対応した新たな地域計画を検討することが必要。</p> <p>(計画の概要)</p> <p>(1) <u>ユニバーサル社会の構築</u> 誰もが地域社会の一員として安心して暮らし、持てる能力を発揮できる「ユニバーサル社会」にふさわしい生活空間の形成に取り組む。</p> <p>(2) <u>災害への対応・減災社会の構築</u> <u>平成16年の台風23号に代表される相次ぐ自然災害に対応し、被害を最小限に抑え、被害を防止する減災社会の構築</u>に取り組む。</p> <p>(3) <u>新しい科学技術の産業化</u> <u>世界最大の大型放射光施設の活用や産学官連携の取り組み</u>により、研究開発成果を生かした産業の創出に取り組むとともに、基幹産業である製造業の強みを生かした取り組みを支援する。</p> <p>(4) <u>社会ストックの多様な活用</u> 限られた資源で最大限の効果を発揮するため、『「つくる」から「つかう」』を徹底し、用途の転換等により既存の社会ストックの有効活用を進める。</p> <p>(5) <u>多自然居住の支援と交流基盤の一層の充実</u> 豊かな自然の中で農作業等を行いながらゆとりのある暮らしを楽しむ多自然居住を支援する取り組みを展開するとともに、<u>地域間の交流と生活の広域化を支える交通網の整備を進めるため、高速六基幹軸など幹線道路網の整備をはじめ鉄道などの公共交通を整備</u>する。</p> <p>(6) <u>参画と協働のまちづくりの拡大</u> 行政と住民とのコミュニケーションを通じ相互の信頼関係を構築し、公民協働の良質な基盤の整備に取り組む。特に、人と人のつながりの回復を基調に、<u>コミュニティの再生に向けた取り組みを展開</u>する。</p>	